



だより

1月号

2023 Vol.47



2023



「みんなが仲間」で市民活動 with コロナ



新年あけましておめでとうございます。

昨年は冬季北京オリンピックや高校野球、サッカーワールドカップなどスポーツ界が盛り上がった1年でしたが、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でもありました。第6、7、8波による感染の急拡大により、経済と感染症防止の両立の難しさを見せつけられました。経済活動のみならず、市民活動団体でも新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻っているとは言えません。

一方、オミクロン株では医学の進歩により重症化率や死亡率が低下し、正しい感染防止対策によって感染のリスクを著しく逡減できることがわかってきました。正しく恐れることにより、医療崩壊を起こさずに社会を回せるようになりつつあります。

昨年は、名取市市民活動支援センター（以下、なとせん）では、通常管理運営を継続できた1年となり、利用者数も昨年以上に増加し、多くの団体にご利用頂くことができました。これもひとえに登録団体の皆様、来館者の皆様、行政をはじめとする関係者の皆様の感染症拡大防止対策や管理運営へのご理解とご協力のお陰と考えております。まことにありがとうございます。

市民同士が支えあう市民活動は市民同士の深いコミュニケーションによって成立するもので、このコミュニケーションを抑制する新型コロナウイルス感染症が市民活動に与える影響は現在も深刻であります。活動を自粛する団体も多く、中には活動をあきらめる団体もありました。こんな状況でも様々な工夫に

より市民活動を継続されている団体には心から敬意を表したいと思います。

このような困難な状況を通じて感じていることは、市民活動が「みんなが仲間という気持ちに基づいている」ということです。相手がメンバーであれ関係者であれ、少しでも不信感や優越感があれば対決心や甘えが生まれ、活動が荒れることになり、団体設立の目的からはずれていきます。自分たちの方がいいことをしている気持ちや社会に役立っているから多少のルール違反は許されるといった行動はその団体の活動のみならず市民活動全体の信用を損なうことにつながります。同じ団体はもとより団体同士、一般市民も含めてすべての人々を「市民活動の仲間」として考え、行動することで、市民活動への信頼が増し、市民活動を次の段階へと深化させることができると感じております。

なとせんの指定管理者の再指定4年目となる令和5年は、徹底した新型コロナウイルス感染症防止対策を行いつつ、これまでの管理運営を継続するとともに、登録団体一覧の改訂作業など市民活動の支援の充実を図ってまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年もまた皆様にとって充実した1年になりますよう祈念致しますとともに、スタッフ一同精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお祈り致します。

名取市市民活動支援センター指定管理者
特定非営利活動法人パートナーシップなとり
代表理事 阿留多伎 真人



情報交換会を開催しました

■ 名取市の協働提案事業

協働とは、同じ目的のために対等の立場で協力して共に働くことです。名取市との協働事業は名取市民が安心安全に暮らすためのまちづくりであり、より良い未来づくりの事業とも言えます。

名取市第六次長期総合計画（第3部 基本計画）にも「市民や地域、企業、行政などまちを構成する様々な主体がまちづくりの方向性や地域課題を共有しつつ、それぞれの強みを生かした協働によるまちづくりを推進します。また、地域における主体的な活動を支援し、それぞれの実情に応じた取り組みの活性化を図ります。」と目指す姿（ゴール）について明記されています。

名取市では、平成 19 年度から協働提案事業が実施されていて、約 50 の団体が事業を実施しています。市民活動団体の活動は、市民による視点や事業の自由度などの特性から、行政では手が届かないところへ大きな効果を発揮しており、協働で地域の課題解決に取り組むことで、市民ニーズに対応したサービスの提供など、高い成果を生み出すことが出来ると期待されています。

■ つながる場づくりで活動の活性化を支援



過去に実施された協働事業を確認しました

今回、なとセン企画「協働してみてもうどうだった？ -そこが知りたかった！協働のあれこれ-」と題して 12 月 3 日に開催した情報交換会では、協働提案事業実施団体や協働提案事業に挑戦したいと思っている団体が一同に会し、協働提案事業について本音で語り合い、よりスムーズに協働を進める

コツや、協働することで解決したい課題をクリアするためのヒントを探る機会となりました。

協働提案事業実施団体として採択されるまで、そして採択後の事業実施、更に事業報告・評価会に至る様々な場面での経験談や思いを、時間に余裕をもって忌憚のない意見を発言できるようにグループに分かれ、模造紙を広げて記録を残しながらディスカッションしました。



沢山の意見・視点があり、課題や情報の共有もできたことで、団体同士のつながりも感じられるひとときとなりました。

今回の情報交換会では、協働提案事業について語り合う目的で集った団体同士が、これまで他の団体活動のこだわりや心情を知る機会が無く、「他の団体はどうか」とモヤモヤしていたことについて共有化が図られました。各団体の強みを生かした協働によるまちづくりの推進と実情に応じた取り組みが活性化されることへの期待が高まります。



熱心な話し合いに時間が足りなくなるほどでした

日本笑い学会 東北支部

今回のコーナーは、「笑い」の大切さを学術的に研究し、その実践・啓発活動に取り組む日本笑い学会東北支部の事務局長/坂本宏一様に、新年の抱負と活動の展望などについて寄稿いただきました。

■ 私たちの活動理念と新年の抱負

皆さま笑年明けましておめでとうございます。
私たちは、自分自身に「笑いの灯」をともすことで心身の幸せを見つけ出し、「自分の笑い」が周りにも明るさと健康と平和をもたらすことを願って、様々な角度からマジメに笑いの研究・実践活動をしています。私たちの名前を初めて聞く人の大半は吉本興業をイメージして「ああ、お笑い学会ですか」と言います。「お」を付けるか付けないかで目くじらを立てることでありませんが、「笑い」に「お」を付けるのは、「笑い」という行動が人間固有のものであり、それだけ「笑い」が人間にとって大切そして御利益があると認識しているからなのでしょうね。当会は、この「笑い」について医学・心理学・民俗学・文学・美術・文化・芸能・歴史など多方面から学術的に学ぶ団体で、もちろん漫談や落語、マジック・腹話術など笑い芸と称するものの実践もその一端です。これからも更なる充実を目指して笑進して参ります。

■ 団体概要と活動状況

- ①本部：大阪市/会員は約 700 名、全国に 17 支部
- ②東北支部：東北 6 県をカバー/会員は約 70 名
- ③公開イベント「笑学校」：年間 5 回（仙台市内ほか他県でも）
- ④笑い学研究会：年間 7 回（主に仙台市内、笑いパフォーマンス演習の場もあります）
- ⑤笑いの出前講演：いつでもどこへでも・公民館・市民センター、老人会・婦人会、町内会、高齢者施設、民間企業、JA、消防署関連、学校等



笑いの出前講演風景

■ 支部大会#26 で「笑集力」が結実！

2022.11.20（日）仙台市福祉プラザにて。当日の目玉は、当会のもと会員で仙台市出身の落語家二つ目「春風亭与いち（24）」を特別ゲストに招いての公演。彼は子ども時代から当支部支部長（歯科医）の患者で、「落語っておもしろいよ」と声をかけられたのが落語家を目指すきっかけだと言う。向山高校時代から当会の「笑学校」や「出前講座」で落語を披露し、多くの人々に笑いを届けていました。高校卒業後、春風亭一之輔の二番弟子として入門し、四年目にして早くも二つ目に昇進という古典落語の実力派です。当日の会場定員は 302 席。ここを満席にして彼をカづけようと、会員が様々なルート・手法で広報に努めた結果、263 名の参加者でした。昔からの深い笑縁と、与いちの熱演、会員の集客努力、参加者の笑エネルギーとが結実した楽しいイベントでした。



■ 名取市民の皆さまへ

笑う心・笑いたい心さえあれば、老若男女を問わず、どなたでも入会歓迎。お待ちしております。年会費 ¥3,500、支部主催のイベントは入場無料、ほか笑いに関する有用な資料・情報等の提供を受けます。

問合せ先

日本笑い学会東北支部事務局/坂本宏一
Tel & Fax : 022-386-3517
E-mail : nati.skm@f8.dion.ne.jp

なとセン information

市民活動講座

「日々の会計と決算書作成のポイントを学ぼう！」

- 開催日 **2月17日(金)**
- 講師 **小野 恵子 さん**
(特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる会計サポーター)
- 時間 13:30~16:00
- 対象 市民活動団体の会計担当者、
町内会なども参加可
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 定員 10名(先着順/要予約)
- 参加費 無料(電卓を各自お持ちください)



情報交換会

第7回 市民活動団体と企業の情報交換会

- 開催日 **3月2日(木)**
- コーディネーター **遠藤 智栄 さん**
(まちづくりアドバイザー)
- 時間 13:30~16:00
- 対象 名取市内で活動する市民活動団体や
企業で、相互の連携に興味のある方
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 定員 20名(先着順/要予約)
- 参加費 無料



申込・問合せ 名取市市民活動支援センター ☎022-382-0829 FAX022-382-0841
Mail: npo@natori-npocenter.or.jp HP: <https://www.natori-npocenter.or.jp>

専門相談会 相談者募集中

- 開催日 **1月26日(木)・2月23日(木)**
- 時間 13:30~、14:45~、16:00~
- 定員 3団体(個人でも可)
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 相談料 無料

イベント情報

「認定NPO法人仙台傾聴の会」

傾聴ボランティア公開講座

テーマ「自立神経を整える」~心と体の相互作用~



- 日時 **1月29日(日)**
開場 13:00 開演 13:30
- 場所 仙台市シルバーセンター7階第一研修室
仙台市青葉区花京院1丁目3-2
- 講師 泉のこころのクリニック院長 高橋 玄氏
- 参加費 無料(事前申し込みが必要です)
- 申込先 認定NPO法人仙台傾聴の会
☎070-2025-8200(村上)

会員募集中

「陳氏伝統太極拳宮城」



当教室は650年の歴史を持つ陳家伝承の太極拳を教えています。陳沛山老師の監修の元、太極拳を楽しく学ぶことが出来ます。太極拳に興味がある、健康のために太極拳をやってみたい方を募集しています。楽しく学んでみませんか？

- 活動日 **毎週月曜日 15:00~18:00**
- 場所 名取市市民活動支援センター
- 問合せ先 陳氏伝統太極拳宮城
☎090-2982-3659(代表 能登谷)

発行日: 令和5年1月1日
発行: 名取市市民活動支援センター
発行部数: 1,000部
編集: 特定非営利活動法人 パートナシップなとり
問合せ先: 〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目6-1
TEL: 022-382-0829 FAX: 022-382-0841
E-mail: npo@natori-npocenter.or.jp
HP: <https://www.natori-npocenter.or.jp>
Blog: <https://blog.canpan.info/natori>

